

事務事業評価表 平成22年度

政策 豊かさ創造性を育む生涯学習環境の充実

施策 青少年健全育成の推進

基本事業 青少年健全育成活動の充実

事業名 **子どもを見守る地域ふれあい事業**

[0461]

部名	教育部	事業開始年度	平成13年度	実施計画事業認定	対象
課名	生涯学習課	事業終了年度	- 年度	会計区分	一般会計

事務事業の目的と成果	
対象	<p>(誰、何に対して事業を行うのか)</p> <p>子どもを見守る地域ふれあい実践団体</p>
意図	<p>(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)</p> <p>地域社会との協働により 子どもを見守るアクションプランの具現化を促し、地域ぐるみで子どもを育てる環境づくりを図る。</p>
手段	<p>(事務事業の内容、やり方、手段)</p> <p>学校、PTA、地域が協働して取り組む子どもを見守るアクションプランの具現化を見据えた次の事業を実施する。 非行防止等子どもの安全を守る地域活動 地域の持つ教育力を活かす交流活動 子どもの体験不足を補う体験学習活動 子どもと共に地域住民が取り組むボランティア活動</p>

事業量・コスト指標の推移						
区分		単位	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度当初
対象指標1	子どもを見守る地域ふれあい実践団体数	団体	6	9	8	8
対象指標2						
活動指標1	補助金額	千円	200	200	200	200
活動指標2						
成果指標1	実践団体等の数	団体	6	9	8	8
成果指標2						
単位コスト指標						
事業費計 (A)		千円	200	200	200	200
正職員人件費 (B)		千円	837	418	415	416
総事業費 (A) + (B)		千円	1,037	618	615	616

費用内訳	
21年度	負担金 補助及び交付金 200千円

事業を取り巻く環境変化

事業開始背景		事業を取り巻く環境変化	池田小学校事件をはじめ子どもが巻き込まれる凶悪犯罪が発生するなか、保護者や住民も子どもたちの教育を地域全体で担って行くとの考えに立ち、学校と連携を図り、地域教育力の向上と青少年の健全育成を目指し、コミュニティの組織化を図る。登下校時の児童、生徒の安全を見守る。
--------	--	-------------	--

21年度の実績による事業課の評価（7月時点）

(1)税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

義務的事務事業

妥当である

妥当性が低い

理由
・
根拠は？

地域社会の協働の推進と地域の教育力の向上を支援することは妥当である。

(2)上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

貢献度大きい

貢献度ふつう

貢献度小さい

基礎的事務事業

理由
・
根拠は？

子どもを見守るアクションプランを具現化を促し、地域活動に反映させる事は青少年健全育成に大いに貢献できる。

(3)計画どおりに成果はあがっていますか？計画どおりに成果がでていない理由、でていない理由は何ですか？

あがっている

どちらかといえばあがっている

あがらない

理由
・
根拠は？

PTA・学校・自治会等の連携が図られている。

(4)成果が向上する余地（可能性）は、ありますか？その理由は何ですか？

成果向上余地 大

成果向上余地 中

成果向上余地 小・なし

理由
・
根拠は？

地域住民がボランティア組織を立ち上げるための支援が必要であるが、自治会組織が住民の高齢化のため活動の停滞が見られる。

(5)現状の成果を落とさずにコスト（予算＋所要時間）を削減する新たな方法はありませんか？（受益者負担含む）

ある

ない

理由
・
根拠は？

補助金を十分にスリム化しており住民ボランティアの活動に負うところが多い。